

工事請負の入札に係る最低制限価格の見直しについて

昨今の物価高騰や事務の効率化の観点を踏まえ、工事請負の入札に係る最低制限価格の算定基準（適用対象予定価格）を見直します。

算定基準見直しの概要

適用欄の予定価格を 130 万円から 200 万円へ見直す。

1 算定基準

（最低制限価格算定基礎額の算定式）

	現 行	改 正
算 定 式	1. 予定価格算出の基礎となった直接工事費×0.97＋共通仮設費×0.9＋現場管理費×0.9＋一般管理費×0.68 ただし、その額が予定価格に 10 分の 9.2 を乗じて得た額を超える場合にあっては 10 分の 9.2 を乗じて得た額とし、予定価格に 10 分の 7.5 を乗じて得た額に満たない場合は 10 分の 7.5 を乗じて得た額とする。	1. 予定価格算出の基礎となった直接工事費×0.97＋共通仮設費×0.9＋現場管理費×0.9＋一般管理費×0.68 ただし、その額が予定価格に 10 分の 9.2 を乗じて得た額を超える場合にあっては 10 分の 9.2 を乗じて得た額とし、予定価格に 10 分の 7.5 を乗じて得た額に満たない場合は 10 分の 7.5 を乗じて得た額とする。
	2. 特別なものについては、1にかかわらず、予定価格の 10 分の 7.5 から 10 分の 9.2 の範囲内の額。	2. 特別なものについては、1にかかわらず、予定価格の 10 分の 7.5 から 10 分の 9.2 の範囲内の額。
適 用	予定価格が <u>130 万円</u> を超える工事	予定価格が <u>200 万円</u> を超える工事

2 ランダム係数

令和 2 年 4 月 1 3 日以降に入札を行うものからランダム係数を導入しています。

① ランダム係数の仕組み

「1 算定基準」により算定した最低制限価格算定基礎額に「ランダム係数」を乗じ、最低制限価格を設定する。

$$\boxed{\text{最低制限価格} = \text{最低制限価格算定基礎額} \times \text{ランダム係数}}$$

※算出は税抜で行い、合計金額に千円未満の端数があるときはこれを切り捨てる。

② ランダム係数の値

パソコンにより乱数を使用して無作為に算出される「0. 9 9 9 5」から「1. 0 0 5 0」まで、0. 0 0 0 1 刻みの 5 6 通り。

3 適用時期

令和 7 年 4 月 1 日以降に入札を行うものから適用します。